



吉田 修 議員

**問** 高齢化が進む本町にとって、医療福祉の充実が優先すべき政策。公立刈田病院の運営は国や県、大学病院を中心とした「みやぎ県南中核病院との地域医療連携」が最も望ましいのではないか。

**答** 東北大学病院からの支援、協力は公立病院どうしの連携でなければ困難。国、県、東北病院の支援を受けて仙南医療圏全体の充実を図るための連携を目指すべきと考える。

**問** 地域医療と刈田病院問題について

**答** 東北大学病院の支援、連携が望ましい

**問** 白石市の一方的な財政破綻を理由に市立病院構想が出ているが、青写真が示されていない。刈田病院の主治医不在により、サービス低下が懸念されるが、早急に対策すべきでは。

**答** 常勤医師の退職が相次ぎ、診療科の縮小になっているのも事実。不足する医師確保の為、東北大学病院からの代診の医師で対応している。

**問** 住民は、刈田病院の診療科の縮小などに大きな不安を抱いている。住民への説明が必要ではないか。

**答** 2月15日に「刈田病院問題」についてのお知らせを全戸配布した。今後必要な情報は、住民へ周知していきたい。



▲七ヶ宿町デマンドタクシー

**問** 本町は県境に位置している為、他県の医療機関を利用していてもいい。町営バス、デマンドタクシーなど利便性の考えは。

**答** 次年度からは、現在、高阜病院まで運行している乗合タクシーを置賜総合病院まで延長する予定です。



▲公立刈田総合病院

**問** 高齢化による一人暮らしの世帯が増加している中で、医療機関への移動体制支援が必要ではないか。

**答** 刈田病院の医療体制がどのようになるのかを確認した上で、今後町民が安心できるような病院バス運営等も検討して参りたい。

**問** 新型コロナウイルスワクチン接種は 4月中旬を想定し準備を実施する

**問** 町へのワクチンの配分の時期と数量、接種会場と方法は。

**答** ワクチン配分の時期、量は未定、接種時期は4月を想定し活性化センターを会場に集団接種を基本に実施予定。

**問** 多くの町民に接種を呼びかけるための対策は。

**答** 接種に関するチラシを配布、広報等でも周知を徹底する。



梅津 政志 議員



**問** 接種のための移動の困難な人の対策は。

**答** 接種会場までの移動は各地区からの送迎バスを予定する。

**問** 新型コロナウイルスワクチン接種にかかる費用と、接種後の安全性の監視強化、副反応発生時の対策は。

**答** 費用はすべて国が負担し、接種後は、一定時間経過観察をはじめ、必要な準備と職員の配置を行う。

**問** 学校教育関連施設と保育所の改修計画は。

**答** 学校長寿命化計画に基づき改修建て替えを実施、保育所は令和5年度建て替え、完成を目指す。

**問** 小規模農家支援としてもう一つのライスセンターが必要ではないか。

**答** 現在のライスセンターと同規模の施設がもう一つは必要と判断しているが、新過疎法の前期の中で考えたい。

**問** さらに便利で利用しやすい公共交通のありかたは。

**答** 必要な路線は維持しつつ、デマンド型などを効果的に組み合わせる研究を行う。

**問** 新規就農支援対策と今後の農業施策は。

**答** 3期目の圃場整備を進めている、農業者の就農前の研修と、就農後の経営の確立を支援する。

**問** 湯原城跡の環境整備による周辺の宿泊施設や、飲食関係の集客に効果が期待できるのでは。

**答** 湯原城跡の価値については関係者の話を聞き今後検討をする。

**問** 大河原方面へのデマンドタクシーの運行は。

**答** 必要性、ニーズ等を踏まえバスのありかたを検討する。

**問** 新過疎法による事業計画は 計画策定に向け準備を進めている